

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	5	第 5 章	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	施策統括課	歴史・文化課
	施策No.	6	施策名	未来につなげる文化の振興	課長名 (施策統括責任者)	池田 成年
	関係課	文化財課 観光振興課 歴史・文化課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。
取組方針	市内に残る歴史遺産や伝統芸能を保存・継承するだけでなく、積極的に活用することで、本市の歴史や文化に関心を持つ人を増やす取組を行っています。また、誰もが身近で気軽に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、活動できる環境の整備に努めます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでもらう。					
<b>成果指標 A</b>						
市内で開催された歴史関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						単位 %
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
24.6	24.6	24.7	24.8	24.9	25.0	25.0
	14.9	9.6	9.9	12.0	12.2	10.9
<b>成果指標 B</b>						
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						単位 %
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
41.5	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
	35.7	27.1	32.8	34.5	42.5	39.6

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	32.5%	30.2%	↓
ある程度重要である	49.7%	52.3%	↑
あまり重要ではない	10.6%	12.6%	↑
重要ではない	1.2%	1.8%	↑
順位	32/36位	31/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.7%	5.3%	↑
どちらかといえば満足	54.3%	60.0%	↑
どちらかといえば不満	20.6%	18.1%	↓
不満である	3.2%	3.2%	→
順位	2/36位	6/36位	↓

#### 4. これまでの取組・成果

- ・「歴史遺産等の保存・継承と整備・活用」については、市内の歴史的風致の維持向上のため、貴重な歴史遺産や伝統芸能の調査等を行いながら適切に保存するとともに、情報を発信し、活用を進めてきた。また、各地域で伝統的に行われている地域文化活動を支援し、伝統文化の保存に努めた。
- ・「市民文化活動の創造」については、佐賀市民芸術祭で、芸術文化に触れる機会の少ない市民に、音楽を中心とした文化芸術活動に触れる機会や発表の場を提供した。新たな取り組みとして、若者中心のダンス・ショーケースを開催し、好評で、次回以降の開催を望む意見が多かった。
- ・「文化施設の運営・整備」については、個別施設計画に基づき、更新の優先順位が高いものや老朽化が著しく更新工事の必要性が高いものなどから、文化施設の整備や設備の改修を行い、適切な運営に努め、市民が安心して安全、快適に利用できるような環境整備を実施した。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

- ・「市内で開催された歴史関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合」については、歴史的なものに関心を持つ方は、実績から見てもまだ限られていると思われる。これまで、参加したことがない方をいかに関心を持ってもらえるような企画イベントや活動の実施が必要である。誰もが気軽に参加できるイベント等の開催が必要と感じた。
- ・「市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合」については、文化芸術活動に関心を持つ方は、ある程度は高いものの、目標には近づいていない状況である。文化芸術に触れる機会や発表の場を提供し、様々な情報発信の必要性である。また、佐賀市民芸術祭等で、誰もが気軽に参加できるようなイベントの開催や若者が主体のプログラムを増加し、若者の参加を増やすことが必要と感じた。若者の意見を企画や運営に反映し、自由な表現にチャレンジできる場の提供が必要である。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・「歴史遺産等の保存・継承と整備・活用」については、基本的にはこれまでの取組を継続しつつ、歴史や風土の中で育まれてきた佐賀ならではの歴史遺産や伝統文化などが数多くあるので、大切に継承されるように取組を推進していく。
- ・「市民文化活動の創造」については、佐賀市民芸術祭は、来場者の満足度は高いものの、若年層の取り込みに課題があると思われるため、学生を含め若い芸術家や活動年数の浅い芸術家の発表の場となるように、若者主体となるプログラムの増加や佐賀における、あたらしい芸術のトライアルの場や自由な表現にチャレンジできる場となるように充実を図る。また、最新技術を取り入れながら分かりやすい発信を行う。
- ・「文化施設の運営・整備」については、個別施設計画に基づき、計画的に文化施設の整備や設備の改修を行い、市民が安心安全で、快適に利用できるような環境整備し、市民が文化芸術活動に触れる機会や発表の場の提供を行う。